



事務局 柏村逸夫

・趣味 ゴルフ、音楽鑑賞、料理
・メッセージ 明るく楽しくそして厳しく取り組みたいと思います。
よろしくお願いします。



麻酔科 島津和久

一月から入職しました。何卒よろしく願い申し上げます。



整形 中村吉晴

一月より一年間お世話になることになりました。今後とも御指導よろしくお願い致します。



医事課 川口忍

大阪の茶の水医療事務専門学院から来ました。まだ入って2ヶ月と少しですが、たくさんの方の事を勉強させて頂きました。これから毎日勉強だと思ひ患者さんの立場に立った人になりたいと思います。頑張ります。よろしくお願いします。



医事課 入江律子

大阪医療技術学園専門学校から来ました。まだ、わからないことがたくさんあって皆様にご迷惑をおかけしますが、がんばりますのでよろしくお願い致します。



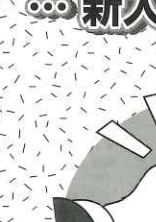
人事課 松田雄二

趣味はテニス。
メッセージ「企業は人なり」と申します。良好な人間関係づくりを目指します。



医事課 計算室 中井実沙子

少しずつ病院のことがわかりはじめてきました。まだ教えたばかりで事が多い毎日です。早く仕事を覚え病院のスタッフの一員として恥かしくない医療従事者になれるように頑張りたいと思います。



…新入職者紹介… (順不同)



医事課 田中早苗

まだまだわからないことがたくさんあって皆様にはご迷惑をかけることが多々あると思いますが、一生懸命がんばりますのでよろしくお願いします。



松崎

入職日 平成9年1月20日
まだ仕事を始めて1ヶ月も経たない新人ですが、売店のお姉さんとして頑張りますので、よろしくお願いします。小さい(?)体でちょこまかと働いていますので、見かけたら声を掛けて下さい。趣味は曲作りと

歌う事です。(又、今回はひこばえに下手なイラストを載せて頂いています。どうか見てやって下さい。)



藤井博子

平成8年9月24日に売店に入社しました。藤井博子です。身体はデカイ(上にも横にも)ですが明るさと機敏さをモットーに頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。追伸：皆さん売店にドシドシ買いに来て下さいね。お待ちしております。

ひこばえ

—ゆきおかニュース—

Vol.2

行 岡 病 院
行 岡 学 園
広 報 部
北区浮田2-2-3
TEL: 371-9921

光・と・健・康

今年のお正月は天候に恵まれて丑年にふさわしくゆったりとした気分でご過ごす事が出来ました。



考えてみると、太陽の光と云うのは人の心に影響を与えるらしく今にも雨が降りそうな天候の時は、うとうしい気分になりがちなものですし、又穏やかな春の光は人の心にこの上もないやすらぎを与えるものです。最近ではこの事についての科学的な研究が進んで来て

理事長：行岡 正雄

おり、光と脳の松果体から出るホルモンとの関係が解明されて来ております。

さて、この様に大切な太陽の光ですが、大部分の患者さんは特に長期療養型の病院においては、ほとんど蛍光灯の暗い光の中で長期間過ごされておられます。空気・水・食物と共に太陽の光も非常に重要な物であると思われませんが、もっと我々医療従事者もこの光に対して関心を持つべきではないでしょうか？

思・う・こ・と

「い」もので、私の勤務医生活は間もなく25年になるとうしている。

この間、今ほど日本の医療の問題点が次々と噴出していた時は無く、これほど「病院の憂鬱」を感じることも無かった。「世界有数の長寿国」という喝采と引き換えに、医療保険の破綻、これに対する性急な医療費抑制策として、患者負担の増加と共に医療機関への痛み分け、すなわち病院経営の困窮が増そうとしている。

しかし、医療保険制度下の医療の実態を経営者も医療従事者も十分理解し、無駄を省き、効率を高めれば、必ずや活路は見いだされる筈である。

まず経営陣はしっかりした理念を持ち、人材を集めてプロとして実務に精通してもらわねばならない。

経営がうまくいかなければ、よき医療は出来ないが、逆も言える。私達医師は、保険医である以上、この制度を理解し、その制限内で自己の能力と経験を活かし、常に、病める人の立場に立ったよき医療を行わなければならない。今こそ全ての医療従事者は自分の職務を見直し、患者さんのために何をなすべきか、如何にあるべきかを考えよう！

眼科部長：志賀サナエ

各々の立場で責任を自覚し、互に協力体制を整えて初めて、病院は円滑に機能する。

各人、各職場からの建設的な意見、提言が汲み上げられ、前向きに検討され、一つずつでも病院運営に活用されて行けば、職員一人一人のやる気と職場全体の活気が増し、これが行岡病院発展の原動力の一つになるのではなからうか。難しい手術を行い、高価なハイテク機器を駆使しても、一人一人の患者さんに安らぎを与える医療でなければ意味が無い。

これからも、心の通じあえる医療が出来る行岡病院であって欲しいと願っている。



編集後記

うららかな春、少し前までは寒風の中で耐えていた種々達「もう春ですよ」と季節は巡りひこばえの確かな息吹を感じています。次号は「夢中になっていることー夢中時代ー」をテーマにとり上げました。皆様の多大なるご応募をお待ちしております。

・ご注意・

デイケア準備にあたりご協力お願いします。ご家庭で不要になりましたガン具(積木やブロックまり)や茶器類、その他ございましたら人事課までお持ち下さいますようお願い致します。

デイケア 準備委員会より

行岡保健衛生学園看護科戴帽式

●看護の心を育む

戴帽式は、自他共に看護への適性を認められ、看護の象徴である帽子を受け、ナイチンゲール像の聖火より、看護の心を受け継ぐ灯を手に、参列の人々の前で、ナイチンゲール誓詞を朗読し、誓いの詞を述べて、看護の勉学に精進する気持を新たにします。

平成8年11月、45期生57名が戴帽を受けた。

彼女たちは、緊張と共に喜びと限りなき希望を抱き、灯を見つめる瞳はキラキラと輝いて美しい。

看護婦を志して手にした暖かい灯の光は彼女たちの心の奥深くに残るであろう。

看護職を志した学生の動機はさまざまである。

看護を学び始めたその時から「看護の心」も育まなければならない。

当初、入学の抱負をレポートさせ、勉学に取り組む姿勢の自覚と理想とする看護婦(士)像を抱かせる。

ナイチンゲール伝の読書、その感想文、「ナイチンゲールの生い立ち

から90年の生涯まで」と「マザーテレサ愛の実践記録」をビデオで学習させる。

ナイチンゲールの業績の正しい把握と看護の考え方の理解を深めさせて、5月12日「看護の日」前後にナイチンゲール像への参拝、一人一人献花の後、バズ討議により人の思いや考え方を知り、個々には看護に対する考え方、学ぶ姿勢をほりさげて考えることにより初心を再認識



行岡学園 田中良子

させる。

目標が定まれば学ぶ姿勢や取り組み方も具体化することによって看護の心を育む土台ができ、その上に知識、技術を学びとる力、考える力を培っていきけるものと信じている。

10月には、自他共に評価を受け、式に臨む姿勢、勉学への取り組みを具体化し、それは即、式での誓いの詞となる。

ナイチンゲール誓詞には、看護婦がなすべきこと、なしてはならないこと、人命の尊さ、看護婦の倫理、モラルが誓いの型で説かれている。

この一連の過程は看護概論と関わって、約半年の学びを経て、戴帽式に至り、一つの意義ある節目として次の段階へのステップとなしてほしい。

人を思いやる心、いたわりの心、即ち「看護の心」です。

人間ならば誰もが持っている心を大切にしたいと思う。

●戴帽式で感じたこと

11月7日に戴帽式を迎え、ナースキャップをいただくことができました。

おそらく、この日が私にとって、一番自分の心の中に残った式でもあるし、一番緊張した式でもありました。

正直な気持ち、こんなに緊張をするなんておもわなかったのに、自分の名前を呼ばれ、先生からナースキャップを戴いた時、すでに足が「ガクガク」震えていました。

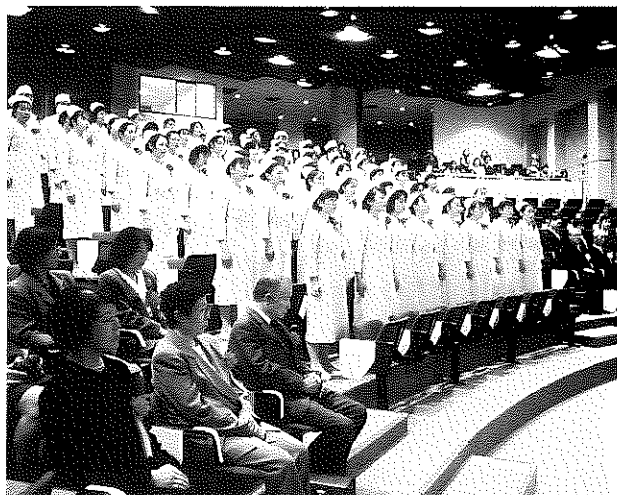
ナイチンゲール像から灯をもらう時、手が震えていて、ローソクになかなか灯が点らず、つかないのではないかと心配しました。

一步一步、歩くのが精一杯ですと足が震えていました。

そして階段を降りてからしばらく頭の中が真っ白だった。

皆んなの戴帽が終るまでの間、灯を見つめていてナースキャップの大切さを体で感じていました。

これからが私にとって看護婦になる本当の第一歩で、漸く、スタートラインに立てたのだと思います。



行岡学園 岸本千代

えます。

そして、人に対する思いやりの気持ちを、いつまでも決して忘れません。

私自身、一番忘れてはならない事があります。

それは、私の事をここまで導いて下さった職場の方々です。

いつも心の支えでした。

人のあたたかさや、やさしさを、体で感じる事が出来ました。

絶対に一人でここまで来た訳ではないのですから、感謝する気持ちをいつまでも、忘れてはならないと思います。

この様な事を、頭に入れ、これから始まる臨床実習に臨みたいのです。

又これからの自分の為にも、後ろを振り返らず、前をみて歩いてゆき、人に感謝する気持ちを忘れないようにしたいです。

12月17日学園教室において 集談会が行なわれました

メインテーマ『急速に変革していく医療』

特別講演：『世紀末の医療を考える』

行岡保健衛生学園 理事長 行岡 正雄

座長 副校長 松下 尚司

一般講演：『訪問看護について』(シンポジウム形式)

①『社会のニーズに対応した看護』

行岡医学技術専門学校 准看護科 田中 良子

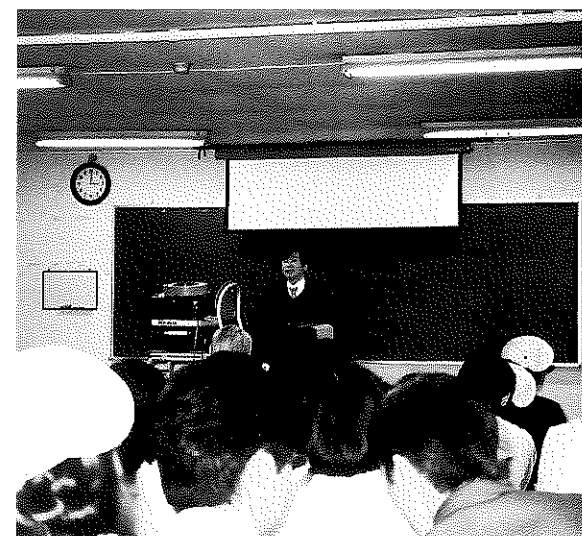
②『ゆきおか訪問看護ステーション事業報告』

ゆきおか訪問看護ステーション 橋本 悦子

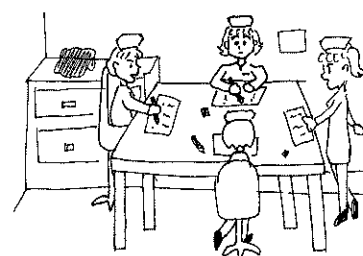
③『訪問歯科保健指導と歯科衛生士』

行岡医学技術専門学校 歯科衛生士 山本 洋子

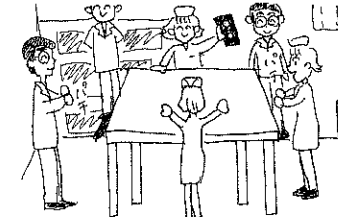
座長 看護科 丸尾 耀子



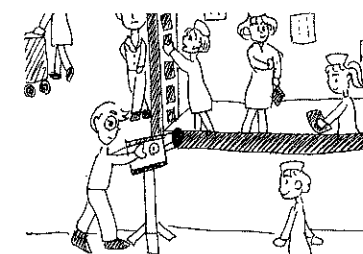
ビデオができるまで



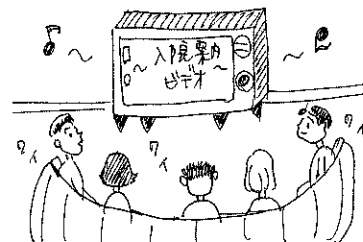
①病院案内ビデオ作成委員会で集まり、これからの長い道のりについて話し合いました。



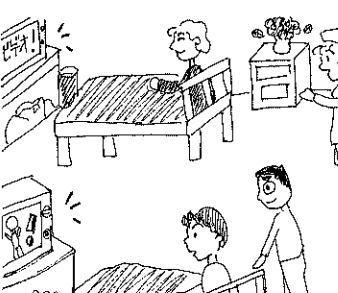
④とうとう完成です。長い道のりをのりこえ納得のいくものができました。本当によかった、バンザイ！



②いよいよビデオ撮影です。出演者の皆さんは緊張していましたが、そこはさすがプロのカメラマン！なごやかな雰囲気の中で進められました。



③試作ビデオの完成！委員会一同期待と不安を胸に、しかし厳しい目で見ました。



⑤ビデオができて、もそれを患者様に見て頂かないと意味がありません。皆さん、ぜひぜひ見て下さいネ！

なんたってポジティブシンキング 秋の講座 10月21日月曜日

講師に下口雄山先生を迎えて自立訓練法のいきいき強化トレーニングの講座が開かれました。

〈受講者の声〉

大変わかり易い指導でおもしろく楽しく気分爽快でリフレッシュしました。
・連日の疲れがとれました。
・グループでの体験がなにより楽しかったです。



●クリスマス行事

ケアミックス病棟では、毎月イベントを行って、入院中の皆様方に、楽しい生活感を味わっていただいております。

12月は、一年間の最後のイベントとして、クリスマス会を、担当のスタッフは盛大にしたいと考え、夜勤等の時間を使って飾りや、小道具を作り雰囲気作りをしました。

12月19日15時より、1時間クリスマス会を行いました。

まず、お手製の三角帽子を、全員の方々にかぶってもらい、歌を歌い、トナカイが台車を引き赤い帽子と服と白い髭を付けて白い大きな袋をかついだスタッフのサンタクロースが、廊下を往復し、患者様とスタッフが一体となり、大変、楽しい雰囲気で盛り上がりました。普段、頑固でマイペースの



お年寄りの男性も、又、日常は、コミュニケーションの困難な人も、涙を流して喜ばれ他の患者様方もこんなに楽しくしてもらって有難うと、笑顔と涙涙でした。そして、患者様の息子様より、温い、お言葉も頂き、最後に、ケーキとジュースで乾杯し大変楽しい雰囲気の中で終わりました。

翌朝、今迄、自ら挨拶したことのない方が、昨日は有難う、と挨拶され、驚きました。

又、殆どの方々が、昨日は有難う、と挨拶され昨日の余韻が残るという、喜ばれようでした。

イベントをすることは、どんな治療よりも心のリハビリだと痛感致しました。

これからも、楽しい行事を工夫していきたいと、スタッフ一同張り切っております。

遅くなりましたが、クリスマス会に御協力下さいました、栄養課の方々、保育所の方々に、心よりお礼申し上げます。

今後共、皆様方の御協力宜しくお願い申し上げます。



●病棟紹介

8階病棟

8階病棟と言えばリウマチ（RA）の方を中心に思いつかれる方も多いと思います。

しかし、現在は骨折などの整形外科的な患者さんも徐々に増えてきています。

RAといえばADLの拡大をはかる援助や、ステロイド剤での治療が中心と考えられているのではないのでしょうか。

本病棟では、これらと共に、骨破壊された関節に対し、早期への社会復帰へ向けて、人工関節の手術が最も多く行われています。

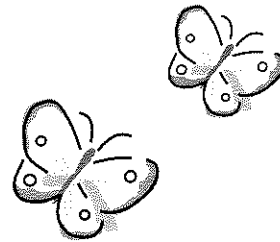
RAの患者さんは、つねに、お互い支えあいながら前向きにリハビリなどの努力を重ねられており、「何とか自分で」と装具や日常生活の中での細かな工夫を、こなされている方ばかりです。その反面、「何とかしたいけど出来ない」と言う時期もあり、そんな時、私達スタッフは心の支えになれる様、かゝわっています。又、RAの増悪期には、関節痛が強くなるための坐薬での疼痛コントロールやADLの援助が重要となります。

私達は、このような患者さんの心身共の状態の変化を判断、予測したうえで看護援助が行える様日々、カンファレンスを深めています。

又、ADLの援助が多いため、助手さんの支えは、私達看護婦にとっても、患者さんにとっても、とても大きな力となっています。

現在、忙しく、バタバタしていますが、スタッフ間での声かけや、笑顔が多く明るい雰囲気のある病棟です。

今後も、山崎婦長、前田主任、スタッフ一同が一体となり、よりよい病棟づくりにはげんでいきたいと思ひます。



●ゆきおか訪問看護ステーション

作業療法士 西山尚美

ゆきおか訪問看護ステーションに移り、はや6ヶ月が過ぎようとしています。

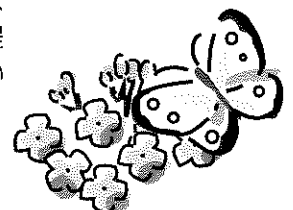
病院から在宅訪問リハを行っていた時との一番大きな違いは、事務処理についてです。

保険の種類や医療費請求の仕方についてなど、学ぶことが多く、医療業務の大変さを少しは理解できたように思ひます。

又、利用者の方から直接利用料をいただくということで病院リハとは違う利用者との関係性があります。

以前から、私のしている仕事はサービス業だという気持ちが強くありましたが、更にその気持ちを自覚したように思ひます。利用者の方に満足していただけるサービスを提供すること、他人がプライベートな部分にふみこむことのギャップに悩みながら、利用者や利用者の家族とのより良い関係性を作っていくことに、喜び、楽しみを感じています。

訪問した時の利用者の方の笑顔は、げみに、今後も多様なサービスを提供できるようにがんばって行きたいと思ひます。



●検査室の一日

検査室 迫田 昭

検査は、最近病院関係以外の方にも知られるようになりましたが、業務範囲が広く、理解されにくい点があるかと思います。さて、今日は行岡病院検査室の紹介をしてみたいと思います。

院内の1号館に、血液検査、生化学検査、血清検査、病理検査、細菌検査の5部門があります。

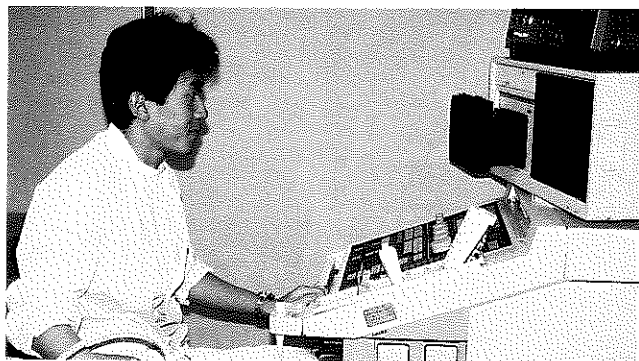
外来部門は内科外来の前に、一般検査室、採血部、心電図検査、肺機能検査、新館2階に、心エコー検査、聴力検査があります。現在の検査室の人員は技師14名、看護婦1名のスタッフです。

床面積は約325㎡です。さて、検査の一日は各病棟からの検査検体の受付から始まります。

検体受付は、伝票と検査検体の照合があり重要な業務です。

約45分位で検体受付が終了し、又外来検査室で、外来患者さんの採血が始まります。

心電図検査も始まり、予約患者さんの脳波検査、心エコー検査、サーモグラフィー検査、聴力検査を担当技師が検査に当たります。



また、外来検査窓口からは外来患者さんより、尿や便等の検査が提出されます。

12時になる頃には、各病棟からの検査血液の分離等の作業が終了し、血清(血漿)に分けられます。

同時に生化学の自動分析装置、自動血球計数装置、その他の装置も検査を開始致します。

昼の休憩は2名の技師が当番となり緊急検査等を実施します。

午後午前中と同様に各検査が1時より開始致します。

ただし、自動分析装置やその他の装置は休憩中でも検査続行中で、全ての検査終了後にストップ致します。

午前中に採血した血液の分離等の作業も始まります。

午後3時頃には、終了した検査結果のチェックを行い、各科への報告が始まります。

報告担当以外の技師は残りの検査検体の処理と、翌日の検査試薬等の準備を行います。

以上で一日の検査の流れが終了致しますが、外来の診療が5時までですので、5時に検査が終ることはありませんが、5時以降は夜間当直の技師に検査が引き継がれます。

日常検査の間には、緊急検査が一日に何件か実施されます。

説明が不十分ではありますが、以上で検査の一日の紹介を終わります。

少しでも理解していただけましたか。

毎日各検査技師が『短時間で正確な検査報告』を目標に頑張っています。

今後とも検査室をよろしくお願い致します。



●専門技術職の教育と自己啓発

行岡学園 歯科技工科 内田多恵子

「二十一世紀医学・医療懇談会」において医療人としての育成目標に

1、幅広い教養を持った感性豊かな人間性。

2、人間性への深い洞察力。

3、倫理観・生命の尊厳についての深い認識などを持つこと。が強く求められています。」

社会の中の医療界→医療界の中の各医療専門技術職、全体と個人の因果関係を、現代の政治や経済の局面からも解き、学生は就業上の自覚を認識して卒業を迎えるわけです。

しかし、卒業を迎える時期になり、意識改革を行おうとしても困難なことが多いのが現状です。

一方、国民生活白書平成7年版の世論調査より、普段の生活の中で「仕事を生き甲斐」と思えますか?という間に「はい」と答える人が20才代では僅か8.1%と記載されている。

しかしそんな若者も年月と共に考えを変えざるをえないようで、労働省「民間教育訓練実態調査」によると1994年1年間の一般企業全体で自己啓発実施率が57%という数字もあり、さらに1995年各職域で自己啓発実施率の最も高いのは専門技術職であります。

つまり、仕事に生き甲斐を感じにくい若者も各々の職域で生き残るためにはかなりの自己研鑽が求められていることがわかります。

これは学生のみならず私達にも言えることで、これからの医療人としては、特に絶え間ない自己啓発を求められていると考えべきでしょう。



「高齢者歯科医療マニュアル」参照